令和6年度　江戸川区立瑞江小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	江戸川区の教育目標を受け、未来を担う子どもたちの豊かな人間性と道徳心を培い、自ら学び実践する個性や想像力を伸ばす教育の充実を目指す。また、地域とともに歩む区立小学校として「瑞江地区の人々とのかかわりの中で地域の宝として生き生きと学ぶ瑞江小の子」の育成に努める。		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	人権尊重の精神を基に、国際社会に貢献できる日本人の育成を目指す。 ◎よく考える瑞江の子　○元気で明るい瑞江の子　○進んで物事をする瑞江の子　○思いやりのある瑞江の子
前年度までの本校の現状	成果	一人一台端末について、児童が操作に慣れ、教員が活用法を研究することによって学習活動での使用頻度が高まり学力向上に寄与することができた。若手教員を中心に教員が児童とともに積極的に運動に取り組み体力の向上が図られた。	課題	読書習慣の確立に向けて、朝読書や読書月間の取組、学校応援団図書ボランティアによる本の読み聞かせなどを実施しているが引き続きの取組やさらなる工夫が必要である。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○「個別最適な学び」と「共働的な学び」の発展	学習活動におけるICTの利活用の推進	毎日、タブレット端末を活用した授業を実施											
	○GIGAスクール構想の取組み	各教科指導の中でプログラミング学習を取り入れる	年２回、高学年を対象とした外部講師によるプログラミング授業を実施											
	○読書科の更なる充実	公共図書館巡回職員と連携した探究学習の実施	全学年で調べる学習コンクールに作品を応募											
体力の向上	○運動習慣の定着	学期に1回のなわ跳び週間の設定	80%以上の児童が江戸川区なわ跳びコンテストに参加											
		全校児童による様々な運動遊びの実施	年間で20回程度、中休みに全校運動遊びを実施											
共生社会の実現に向けた教育の推進	特別支援教育の充実	通常学級と特別支援学級との積極的な交流	日常的な共同学習および特別支援の理解推進教育を実施											
	ユニバーサルデザインの推進	巡回指導や特別支援教室専門員の活用、日本語指導員や日本語教室との連携	毎月、ケース会議を実施し指導・支援の方針を確認											
不登校・いじめ対	生活指導の充実	SC、特別支援コーディネーター、SSWと連携した適応支援	毎月１回、不登校対策委員会を実施し情報共有											
	Ohyper-QUの活用	QUテストの児童の実態把握に基づいた指導の推進	年に1回校内でQU研修会を実施											

応の充実															
学校（園）の実現 地域社会に開かれた	○学校（園）ホームページの充実等	学校ホームページの更新	「学校日記」「今日の給食」を中心に毎日更新												
	家庭・地域との連携	家庭と連携した情報モラル教育の実施	学校便りや保護者会などでSNSルールを共有												
	近隣幼保・小中学校との連携	小中連携教育および保幼小連携教育の実施	年間を通して行事の参観や交流、授業体験を実施												
教育の展開 特色ある	○授業力・学級経営力の育成	教職員の「共働型問題解決能力」の向上	年間を通した校内授業研究および月１回の自主研修を実施												
	○働き方改革	校務支援システムの活用や会議の精選などによる仕事の効率化	月別時間外労働40時間以下												